

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
社会福祉援助概説 Introduction to Social Welfare		全学科	1年次	後期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
講義	2	選択	今川 晋平	
概要				
社会福祉援助技術として必要な対人援助の基礎となるコミュニケーションについてグループ演習を交えながら体験的・体系的に学ぶ。				
到達目標				
(1) 対人援助の基礎となるコミュニケーションとはなにかを説明できる。 (2) 援助を行っていく上でのコミュニケーション技術を身につける。 (3) 対人援助について関心をもち自分の考えや意見を述べるができる。				
授業内容とすすめ方				
1 オリエンテーションーアイスブレイクを体験しよう 2 人が持っている枠組みとは何か 3 自分の持っている価値観と他人が持っている価値観とは 4 思い込みとは 5 分かち合いとこたえる 6 自己開示とフィードバックとは 7 トラブルや葛藤とのつきあい方とは 8 話す・聞くとは 9 みる・サインとしての身体と感情表出のさまざまな形とは 10 人が人を理解するときとは 11 リーダーシップとは 12 伝えるとは 13 伝える① 14 伝える② 15 援助者に求められるコミュニケーション力を考えよう				
テキストおよび 参 考 文 献	講義時に資料を配布。参考文献はその都度紹介			
メ ッ セ ー ジ な	講義中の私語、携帯は慎む。 資料を配布予定であるので、資料を保管するためのクリアファイル等を用意することが望ましい。			

ルーブリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) 対人援助の基礎となるコミュニケーションとはなにかを説明できる。	問題なくほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いはないが基本的な説明をすることが可能である。	最低限度の説明はできる。	説明できていない。	定期試験 (知識・理解)	40%
(2) 援助を行っていく上でのコミュニケーション技術を身につける。	問題なくほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いはないが基本的な説明をすることが可能である。	最低限度の説明はできる。	説明できていない。		30%
(3) 対人援助について関心をもち自分の考えや意見を述べることができる。	対人援助について正しく認識してほぼ完璧に自分の考えを述べることができる。	対人援助について基本的な説明をすることが可能で自分の考えを述べることができる。	対人援助について最低限度の説明はでき自分の考えを述べることができる。	自分の考えを述べていない。	課題レポート (関心・判断・思考・把握)	30%